

生化学的検査



脂質

コード	検査項目 JLAC10コード	検体量(mL)	容器 (No.)	保存	所要 日数	実施料 判断区分	検査方法	基準値	備考	異常を示す主な疾患																	
2007	総コレステロール 3F050-0000-023-271	血清 0.5	1	冷蔵	1~2	17 生化I*	酵素法	130~219 mg/dL		【高値】家族性高コレステロール血症 動脈硬化症・糖尿病・急性肝炎 膵炎・甲状腺機能低下症 ネフローゼ症候群 【低値】肝硬変・肝癌・劇症肝炎 甲状腺機能亢進症・栄養不良 家族性低βリポ蛋白血症																	
2057	遊離コレステロール 3F065-0000-023-271	血清 0.5	1	冷蔵	2~4	11 生化I*	酵素法	34~66 mg/dL		【高値】コレステロール血症 肝硬変・ネフローゼ症候群 閉塞性黄疸 【低値】肝疾患・副腎不全 低βリポ蛋白血症																	
2054	HDLコレステロール 3F070-0000-023-271	血清 0.5	1	冷蔵	1~3	17 生化I*	直接法	男 40~74 女 40~83 mg/dL		【高値】原発性高HDL血症 原発性胆汁性肝硬変 閉塞性肺疾患・CEP欠損症 【低値】糖尿病・肝疾患・腎不全 LCAT欠損症																	
2270	LDLコレステロール 3F077-0000-023-271	血清 0.5	1	冷蔵	1~3	18 生化I*	酵素法	70~139 mg/dL		【高値】家族性高コレステロール血症 高脂血症・糖尿病・肥満 ネフローゼ症候群・甲状腺機能低下症 【低値】無βリポ蛋白血症・肝硬変 甲状腺機能亢進症																	
2081	コレステロール分画 3F150-0000-023-233	血清 0.5	1	冷蔵	3~5	57 生化I	アガロース膜 電気泳動法	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>分画(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">HDL- コレステロール</td> <td>男</td> <td>17~43</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>22~51</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">VLDL- コレステロール</td> <td>男</td> <td>2~18</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>1~14</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">LDL- コレステロール</td> <td>男</td> <td>51~77</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>45~72</td> </tr> </tbody> </table>			分画(%)	HDL- コレステロール	男	17~43	女	22~51	VLDL- コレステロール	男	2~18	女	1~14	LDL- コレステロール	男	51~77	女	45~72	【高値】動脈硬化症・糖尿病 原発性高コレステロール血症 脂肪食過剰摂取・閉塞性黄疸 甲状腺機能低下症・急性肝炎 膵炎(急性・慢性) 【低値】肝硬変・肝癌・劇症肝炎 甲状腺機能亢進症・アジソン病 栄養不良 家族性低コレステロール血症
		分画(%)																									
HDL- コレステロール	男	17~43																									
	女	22~51																									
VLDL- コレステロール	男	2~18																									
	女	1~14																									
LDL- コレステロール	男	51~77																									
	女	45~72																									
2008	中性脂肪(TG) 3F015-0000-023-271	血清 0.5	1	冷蔵	1~2	11 生化I*	酵素法	35~149 mg/dL		【高値】家族性高リポ蛋白血症・食後 ネフローゼ症候群・動脈硬化症 【低値】続発性脂質異常症 心不全・肝硬変																	
2050	リン脂質 3F025-0000-023-271	血清 0.5	1	冷蔵	1~3	15 生化I*	酵素法	130~270 mg/dL		【高値】肝外胆汁うっ滞 脂質異常症・LCAT欠損症 ネフローゼ症候群 【低値】肝疾患(急性・慢性)・肝硬変 低βリポ蛋白血症																	
2058	胆汁酸 3F110-0000-023-271	血清 0.5	1	冷蔵	1~3	47 生化I	酵素法	10以下 μmol/L	食後に上昇しますので早朝 空腹時に採血してください。	【高値】肝炎(急性・慢性) 肝硬変・肝癌・閉塞性黄疸 【低値】回盲部の障害 吸収不良症候群																	
9105	グリコール酸 3F115-0000-023-002	血清 0.3	1	冷蔵	3~4	80 生化I	RIA (PEG法)	60.0以下 μg/dL	食後に上昇しますので早朝 空腹時に採血してください。	【高値】肝炎・肝外閉塞性黄疸 肝内胆汁うっ滞肝硬変・肝癌 肝炎・原発性胆汁性肝硬変																	
9180	脂肪酸分画(4分画) 3F040-0000-023-205 3F040-0000-022-205	血清 0.5 ヘパリン 血漿 0.5	1 8	凍結	5~6	417 生化II	LC-MS/MS	DHLA 23~72 AA 142~307 EPA 12~112 DHA 51~185 μg/mL EPA/AA比 0.06~0.44 DHA/AA比 0.25~0.81 (EPA+DHA)/AA比 0.30~1.11	早朝空腹時採血 DHLA:ジホモ-γ-リノレン酸 AA:アラキドン酸 EPA:エイコサペンタエン酸 DHA:ドコサヘキサエン酸	【高値】動脈硬化性疾患(AA) 家族性LCAT欠損症 【低値】 動脈硬化性疾患(FPA,DHA) 血栓性疾患(EPA/AA)																	

※HDLコレステロール、総コレステロール及びLDLコレステロールを併せて測定した場合は、主たるもの2つに限り算定する。



脂質

コード	検査項目 JLAC10コード	検体量 (mL)	容器 (No.)	保存	所要 日数	実施料 判断区分	検査方法	基準値	備考	異常を示す主な疾患																		
2080	リポ蛋白分画 3F135-0000-023-233	血清 0.3	1	冷蔵	3~5	49 生化I	アガロース膜 電気泳動法	<table border="1"> <tr> <th colspan="3">分画 (%)</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">α</td> <td>男</td> <td>27~51</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>33~53</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">pre β</td> <td>男</td> <td>8~24</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>7~21</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">β</td> <td>男</td> <td>35~56</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>34~52</td> </tr> </table>	分画 (%)			α	男	27~51	女	33~53	pre β	男	8~24	女	7~21	β	男	35~56	女	34~52	凍結不可	【異常】脂質異常症・糖尿病 リポ蛋白血症・ネフローゼ症候群 甲状腺機能低下症・アポ蛋白E異常 家族性欠陥アポ蛋白B 【低値】肝硬変・甲状腺機能亢進症 無・低βリポ蛋白血症
分画 (%)																												
α	男	27~51																										
	女	33~53																										
pre β	男	8~24																										
	女	7~21																										
β	男	35~56																										
	女	34~52																										
2156	リポ蛋白分画 (PAGE) 3F140-0000-023-235	血清 0.5	1	必ず 冷蔵	3~5	80 生化I	ポリアクリルアミドゲル 電気泳動法	HDL 男22~50 女26~53 LDL 男44~69 女42~65 VLDL 男 5~20 女 4~17 %	凍結不可																			
2223	アポリポ蛋白A I 3F180-0000-023-061	1~3項目 血清 0.3 4項目以上 血清 0.5	1	冷蔵	2~4	1項目 31 2項目 62 3項目 以上 94 生化I	TIA	男 119~155 女 126~165 mg/dL		【高値】原発性高HDL-C血症 原発性胆汁性肝硬変 【低値】LCAT欠損症・高TG血症 アポ蛋白A-II欠損症/異常症 肝炎(急性・慢性)・慢性腎不全																		
2224	アポリポ蛋白A II 3F185-0000-023-061		1	冷蔵	2~4			男 25.9~35.7 女 24.6~33.3 mg/dL	【高値】原発性高HDL-C血症 原発性胆汁性肝硬変 【低値】LCAT欠損症・高TG血症 アポ蛋白A-II欠損症/異常症 肝炎(急性・慢性)・慢性腎不全																			
2225	アポリポ蛋白B 3F190-0000-023-061		1	冷蔵	1~3			男 73~109 女 66~101 mg/dL	【高値】II~V型脂質異常症 糖尿病・甲状腺機能低下症 ネフローゼ症候群 【低値】無~低βリポ蛋白血症 変異アポ蛋白B血症 甲状腺機能亢進症																			
2226	アポリポ蛋白C II 3F195-0000-023-061		1	冷蔵	2~4			男 1.8~4.6 女 1.5~3.8 mg/dL	【高値】LPL欠損症・高TG血症 III~V型脂質異常症 閉塞性黄疸・糖尿病 ネフローゼ症候群																			
2227	アポリポ蛋白C III 3F200-0000-023-061		1	冷蔵	1~3			男 5.8~10.0 女 5.4~ 9.0 mg/dL	【高値】IIIb、III~V型脂質異常症 閉塞性黄疸・ネフローゼ症候群																			
2228	アポリポ蛋白E 3F205-0000-023-061		1	冷蔵	1~3			男 2.7~4.3 女 2.8~4.6 mg/dL	【高値】高TG血症 IIa-II、III~V型脂質異常症 変異アポ蛋白E血症・閉塞性黄疸 ネフローゼ症候群 【低値】アポ蛋白E欠損症																			
2095	リポ蛋白(a) (Lp(a)) 3F156-0000-023-062	血清 0.3	1	冷蔵	1~3	107 生化I	LA	40以下 mg/dL		【高値】虚血性心疾患 脳血管障害・動脈硬化症 糖尿病・腎疾患																		
2093	RLP-コレステロール (リムノイドリポ蛋白コレステロール) 3F078-0000-023-271	血清 0.5	1	必ず 冷蔵	3~5	184 生化I	酵素法	7.5以下 mg/dL	糖尿病、冠動脈患者等の既往歴 のある場合は、5.2mg/dL以上が ハイリスク域	【高値】高TG血症を伴う 脂質異常症 糖尿病・肥満・肝疾患・心筋梗塞																		
8998	HDL2,3コレステロール 3F075-0000-023-221	血清 1.0	1	冷蔵	3~5		超遠心法	HDL2 男 16.0~61.0 女 23.0~73.0 HDL3 男 13.0~25.0 女 13.0~24.0 mg/dL		HDL2低値 動脈硬化症・急性肝炎 閉塞性黄疸 LPL活性低下 HDL3低値 肝硬変・急性肝炎・動脈硬化 共に高値 CETP欠損 トリグリセライドリパーゼ活性低下																		
9144	リポ蛋白リパーゼ (LPL) 3F160-0000-022-023	ヘパリン 血清 0.5	8	血漿 凍結	3~9	223 生化I	EIA	164~284 ng/mL	早朝空腹時にヘパリンを体重1kg あたり30単位で静注し15分後に 採血し4℃で遠心分離後、血清を 凍結保存にてご提出ください。 *EDTA・クエン酸血漿は不可	【高値】肥満 【低値】末端肥大症・糖尿病 下垂体機能低下症 LPL欠損症																		

* 血液化学検査の包括 1回に採取した血液を用いて5項目以上の検査を行った場合
5~7項目：93点 8・9項目：99点 10項目以上：109点

※リポ蛋白(a)は、3月に1回を限度として算定できる。

※RLP-コレステロールは、3月に1回を限度として算定できる。

※リポ蛋白リパーゼ(LPL)は、高トリグリセライド血症及びLPL欠損症が疑われる場合の鑑別のために測定した場合のみ算定できる。

また、ヘパリン負荷が行われた場合、投与したヘパリンは薬剤料として算定できるが、注射料は算定できない。